

国立スポーツ科学センター（JISS） オプトアウトにより実施する研究	
研究課題名	スノーボードスロープスタイル・ビッグエアにおける選手の心理的特性とコーチのコーチング行動に関する実態調査
倫理審査委員会承認番号	2026-026
研究開始日	2026年8月4日
研究終了日	2027年3月31日
研究目的	スノーボードスロープスタイル・ビッグエア（SSBA）競技において、①：トップ選手に共通してみられる心理的特性を明らかにすること、②：コーチに対してこれまでのコーチング行動についてヒヤリングし、SSBAコーチのコーチングに関する傾向を明らかにすること、③：選手の個別の問題に対するコーチング行動と選手の行動変容をモニタリングし、その効果を検討すること、④：①～③を踏まえたうえで、選手個別の心理的特性を踏まえたコーチング行動の決定プロセスを一般化すること。
研究対象者	SSBAナショナルチーム所属選手
研究概要	ホルモン指標を用いた生理学的アプローチの導入による質問紙調査結果の検証 行動変容の成否に影響を及ぼす内的要因をより正確に把握するため、ステップ1で実施したBIS/BASの調査結果を有する研究対象者に対して、新たに唾液によるホルモン測定（コルチゾールおよびテストステロン）を実施する。BIS/BASによる心理的傾向とホルモン測定による傾向には一定の相関があると言われていることから、新たに以下のホルモン指標を検討することでこれまで実施してきた質問紙調査の結果を裏付けるデータを得る。
研究に用いる試料・情報の種類	質問紙調査（BIS/BAS尺度日本語版、PANAS日本語版）結果、心理検査（SAM）結果、唾液
研究の資金源	スポーツ医・科学研究事業予算
研究に係る利益相反及び個人の収益	なし
研究責任者	尾崎宏樹
共同研究者	高橋由衣、本郷由貴、岩崎晋、松村聖司、玉井伸典
問合せ先	尾崎宏樹 hiroki.ozaki@jpnssport.go.jp 03-5963-0231